

芸術文化学科

学科理念・教育目標

21世紀以降、大きく変化する社会の現状と関わるかという姿勢があらゆる分野において求められているなかで、「芸術文化」は社会を豊かにする基盤としてその重要性をさらに増しています。また、社会に生きる多様な人々が、これまで以上に芸術文化の価値を認識し、実感できるよう、伝え、活かすことが重要です。芸術文化学科のミッション（使命）は、さまざまな領域を横断・包括する視野と、そこから生まれた発想をもとに、芸術文化を社会で活かす実践的なデザインができる人材の育成にあります。

1999年の学科創立以来、芸術文化学科はこのミッションに向き合い、「芸術文化学」を教育の根幹に据え、芸術文化を構成する〈人との〉〈人との〉〈人との〉との関係を研究し、創造的な提案や計画を立案・実践することで、一人一人の人間と社会全体の活性化を目指します。

【芸術文化学とは】
人々が作品の創造や鑑賞などの行為によって心身の充実を追求する「芸術」と、精神的・身体的活動を通じて確立し、継承、変化させ続けてきた「文化」、その「芸術」と「文化」を社会にどのように活かすのかについて、領域横断的かつ実践的に研究する学問領域。

造形学部ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)

- DP1 専門的な知識を理解し深めることができる。
- DP2 専門分野の基盤となる文化や諸科学について総合的に理解している。
- DP3 制作・研究を深め広げる技能を身につけている。
- DP4 他者に伝える表現能力および他者とともに考える対話能力を身につけている。
- DP5 批判的思考を働かせ、課題や主題を自主的に設定することができる。
- DP6 論理的思考・創造的思考を働かせ、独創的な課題解決の判断や構想ができる。
- DP7 制作・研究に幅広い関心と高い意欲を持ち、社会のなかで主体的に取り組むことができる。

科目区分		1年次	2年次	3年次	4年次
造形総合科目	I 類必修	造形総合・絵画 I 造形総合・彫刻 I			
	I 類選択必修	造形総合・絵画 II 造形総合・彫刻 II 造形総合・デザイン II 造形総合・工芸 II 造形総合・メディア表現 II			
学科別科目	I 類必修	芸術文化特論 I プランニング入門 デジタルデザイン基礎 I プランニング実践 芸術文化学入門	芸術文化学概説 マネジメント入門 デジタルデザイン基礎 II マネジメント実践 造形基礎 展示基礎	芸術文化特論 II 芸術文化演習 I	芸術文化演習 II
	I 類選択必修		鑑賞プログラムデザイン ドローイング/デザイン 空間デザイン 絵画 II 映像デザイン デジタルアーカイヴス	芸術文化研究 A 芸術文化研究 G 芸術文化研究 B 芸術文化研究 H 芸術文化研究 C 芸術文化研究 I 芸術文化研究 D 芸術文化研究 J 芸術文化研究 E 芸術文化研究 K 芸術文化研究 F	
	II 類選択必修	ミュージオロジー入門 西洋美術史概論 ミュージオロジーと生涯学習 デザイン基礎(映像メディア表現を含む)	ミュージオロジーと保存 日本美術史概論 ミュージオロジーと教育 工芸制作 I	ミュージオロジーと運営 ミュージオロジーと資料 ミュージオロジー実習 I	ミュージオロジー実習 II
	A	表象文化論 I 表象文化論 IV 写真論 I 文化社会論 I 造形民俗学 I アートセラピー メディアと情報 I 広報論 アートマネジメント I 表象文化論 II 表象文化論 V 写真論 II 文化社会論 II 造形民俗学 II 芸術文化論 I メディアと情報 II アートマネジメント II 表象文化論 III		原書購読	
	B	アーツプロジェクト I アーツプロジェクト II アーツプロジェクト III アーツプロジェクト IV アーツプロジェクト V アーツプロジェクト VI			
C			ウェブデザイン イベント計画 編集計画 絵画 III(映像メディア表現含む)		
卒業制作					卒業研究・卒業制作